

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】言葉や表現の基礎知識を身に付け、目的や相手に応じて適切に使う技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを整理し、相手や目的に応じて分かりやすく伝える力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語活動に主体的に取り組み、他者と関わりながら学びを深め、自己の成長に生かす態度を養う。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。テンプレートを理解し、原稿を作成できる。	グループワークや表現活動で、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えることができる。わかりやすくスピーチ、発表学習を通し、創意工夫を繰り返し、表現力をつける。	ワークシート、課題への真剣に取り組むことが

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書き。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の表記について学び、正しく使う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク、課題に取り組む。期限内に完成させる。	・オリエンテーション ・漢字学習4級 ・言葉と表記(1)～(5) ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。 【思考・判断・表現】 グループワークや表現活動で、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、課題への真剣に取り組むことができる。	○	○	○	15
	A 単元 【知識及び技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなことをわかりやすく相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク、課題に取り組む。期限内に完成させる。	・スピーチ学習 ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人2台端末の活用	【知識・技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考・判断・表現】 パワーポイントなどを使い、自分の好きなことをわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、課題への真剣に取り組むことができる。	○	○	○	10
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書き。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の表記について学び、正しく使う。 【学びに向かう力、人間性等】	・漢字学習4級 ・係り受けを整える(1)(2) ・相手に応じた言葉遣い(1)～(3) ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。 【思考・判断・表現】 グループワークや表現活動で、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15
	A 単元 【知識及び技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 客観的なデータに基づいて、伝えたいことをわかりやすく相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク、課題に取り組む。	・スピーチ学習 ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人2台端末の活用	【知識・技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考・判断・表現】 パワーポイントなどを使い、客観的なデータに基づいて、伝えたいことをわかりやすく相手に伝える。ことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スピーチ原稿、課題への真剣に取り組む。期限内に提出することができる。	○	○	○	10
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書き。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の表記について学び、正しく使う。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク、課題に取り組む。期限内に完成させる。	・漢字学習4級 ・わかりやすい文を書く(1)～(3) ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。 【思考・判断・表現】 グループワークや表現活動で、自分の伝えたいことをわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、課題への真剣に取り組むことができる。	○	○	○	10
	A 単元 【知識及び技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のお気に入りの商品と、その他の同等なものと比較し、わかりやすく相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチ原稿、課題への真剣に取り組む。期限内に提出する。	・スピーチ学習 ・国語表現（大修館書店） 国語の表現力トレーニングノート（大修館書店）アシスト常用漢字（数研出版） ・一人2台端末の活用	【知識・技能】 スピーチの構成について学ぶ。 【思考・判断・表現】 パワーポイントなどを使い、自分のお気に入りの商品と、その他の同等なものと比較し、わかりやすく相手に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 スピーチ原稿、課題への真剣に取り組む。期限内に提出することができる。	○	○	○	10

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 公共 科目 公共

教科: 公共 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 組~ 組

教科担当者:

使用教科書: (数研出版 「改訂版 高等学校 公共 これからの社会について考える」)

教科 公共 の目標:

【知識及び技能】 社会における概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 社会の一員として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付ける

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各々が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
A 単元: 公共の歴 【知識及び技能】 青年期が人生において持つ意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの自我について、マズローやエリクソンの理論に基づき適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深める。	・指導事項 ルソー、第二の誕生、自我、エリクソン、青年期、防衛機制、マズローの欲求創設 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 青年期が人生において持つ意味を理解している。 【思考・判断・表現】 自らの自我について、マズローやエリクソンの理論に基づき適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深めている。	○	○	○	8
単元テスト①			○	○		1
B 単元: 功利主義と義務論 【知識及び技能】 功利主義と義務論の相違について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方にに基づき表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせ、思考する。	・指導事項 功利主義、義務論、ベンサム、ミロ、カント、トロッコ問題 ・教材 授業プリント	【知識・技能】 功利主義と義務論の相違について理解できている。 【思考・判断・表現】 社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方にに基づき表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせ、思考している。	○	○	○	9
単元テスト②			○	○		1
C 単元: 経済とは何か 【知識及び技能】 経済とは、生産・分配・消費の一連の社会の仕組みであることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済の動きを知り、大量生産・大量消費の仕組みが社会に与える影響について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済の仕組みを理解し、機械で生産する意味を考える。	・指導事項 産業革命、大量生産・大量消費、企業の仕組み ・教材 授業プリント	【知識・技能】 経済とは、生産・分配・消費の一連の社会の仕組みであることを理解している。 【思考・判断・表現】 経済の動きを知り、大量生産・大量消費の仕組みが社会に与える影響について表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済の仕組みを理解し、機械で生産する意味を考えている。	○	○	○	7
確認テスト①			○	○		1
D 単元: 企業の仕組み 【知識及び技能】 直接金融、間接金融の違いと、銀行、証券会社など金融機関の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 金融の仕組みを通じてお金の流れ、経済主体の間を循環していることを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 預金や株式などに関心を持ち、経済主体としての自覚を深める。	・指導事項 株式会社の仕組み、金融の仕組み ・教材 授業プリント 「株式会社を作ろう」 司法書士による講演	【知識・技能】 直接金融、間接金融の違いと、銀行、証券会社など金融機関の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 金融の仕組みを通じてお金の流れ、経済主体の間を循環していることを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 預金や株式などに関心を持ち、経済主体としての自覚を深めている。	○	○	○	10
単元テスト③			○	○		1
E 単元: 多様な契約 【知識及び技能】 契約が当事者の同意により、成立することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの体験に基づき、契約や契約取り消しについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成年について自らが近く、持つ権利と、責任について自覚を深めている。	・指導事項 契約、ルールとマナー ・教材 授業プリント	【知識・技能】 契約が当事者の同意により、成立することを理解している。 【思考・判断・表現】 自らの体験に基づき、契約や契約取り消しについて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18歳成年について自らが近く、持つ権利と、責任について自覚を深めている。	○	○	○	7
単元テスト④			○	○		1
F 単元: 法と社会 【知識及び技能】 法と道徳との相違点について理解している。日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 法について関心を持ち、巻末の法文にあたりようとしている。	・指導事項 我が国の法体系、共有地の悲劇 ・教材 授業プリント	【知識及び技能】 法と道徳との相違点について理解している。日本の法体系、法の分類、法の対象について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 法について関心を持ち、巻末の法文にあたりようとしている。	○	○	○	8
確認テスト②			○	○		1
G 単元: 国会と内閣、地方自治 【知識及び技能】 国会の仕組みや立法手続き、行政組織、三権の均衡など基礎的な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 国会の仕組みや立法手続き、行政組織、三権の均衡など基礎的な知識を習得している。官僚が権力を持つことの問題点を理解する。	・指導事項 三権分立、日本国憲法、地方自治、官僚制 ・教材 授業プリント	【知識及び技能】 国会の仕組みや立法手続き、行政組織、三権の均衡など基礎的な知識を習得している。官僚が権力を持つことの問題点を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国会の仕組みや立法手続き、行政組織、三権の均衡など基礎的な知識を習得している。官僚が権力を持つことの問題点を理解している。	○	○	○	8

練馬工科 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 改訂 新編 物理基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】原理・法則などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】事物・現象から問題を見いだす力や見通しをもって観察、実験などを行う力を身に付けるようにする。また、得られた結果を分析して解釈、表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
エネルギー的な視点から、自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	エネルギー的な視点から、自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1編 1章 直線運動の世界 【知識及び技能】 物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・運動の表し方 ・変位と速度 ・等速直線運動 ・合成速度と相対速度 ・速度が変わる運動 ・自由落下 ・鉛直投射 ・水平投射	1編 1章 直線運動の世界 【知識及び技能】 物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	1編 2章 力と運動の法則 【知識及び技能】 さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・力とつり合い ・力の合成と分解 ・垂直抗力と弾性力 ・慣性の法則 ・「運動の変化」と「力」 ・作用反作用の法則 ・静止摩擦力とその性質 ・動摩擦力とその性質 ・空気の抵抗力 ・水圧と浮力	1編 2章 力と運動の法則 【知識及び技能】 さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな力とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	1編 3章 力学的エネルギー 【知識及び技能】 運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・仕事 ・仕事率と仕事の原理 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存 ・力学的エネルギーが保存されない運動	1編 3章 力学的エネルギー 【知識及び技能】 運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	2編 1章 熱 【知識及び技能】 熱と温度、熱の利用について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 熱について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 熱に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・温度と熱運動 ・熱と物質 ・熱の移動と保存 ・熱と仕事 ・熱機関と不可逆変化	2編 1章 熱 【知識及び技能】 熱と温度、熱の利用について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 熱について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 熱に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	2編 2章 波 【知識及び技能】 波の性質、音と振動について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・いろいろな波 ・波の表し方 ・横波と縦波 ・波の重ね合わせ ・定在波 ・波の反射 ・音波 ・弦の固有振動 ・気柱の固有振動	2編 2章 波 【知識及び技能】 波の性質、音と振動について、観察、実験などを通して理解しているとともに、科学的に探究するための基本操作や基本技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 3 組

教科担当者:

使用教科書: (現代高等保健体育・ステップアップスポーツ2026)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】運動技能のポイントを理解し、実践することができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】自分の課題を見つけ、改善方法を考えたり、仲間と協力したりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】仲間を思いやり協力して活動することができるようにする。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ルールや技能のポイントを理解し、実践に生かすことができる。運動の特性や安全面について理解し、実際に行動することができる。	自分の課題を見つけ、改善方法を考えながら取り組むことができる。学習したことをもとにより良い方法を考えることができる。自分や仲間の動きを振り返ることができる。	仲間と協力しながら意欲的に授業に取り組むことができる。ルールやマナーを守り、責任ある行動ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 新体力テスト 【知識及び技能】 正しい測定方法や動きのポイントを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の課題を分析し、記録向上の方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体力向上に関心をもち、最後まで意欲的に取り組むことができる。	・新体力テストの測定方法、各種目のポイントや伸ばすための方法	【知識・技能】 測定方法を理解している。 【思考・判断・表現】 自分の課題を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の体力向上に関心を持っている。	○	○	○	12
	B ゴール型 【知識及び技能】 基本的な技能を理解し、状況に応じて使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ゲームの状況に応じて適切な判断をし、効果的なプレーを選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、積極的にゲームや練習に参加することができる。	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	10
	定期考査						
2 学 期	C 水泳 【知識及び技能】 基本的な泳法の動きを理解し、正しく泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の泳ぎを振り返り、課題を見つけて改善する方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組み、最後まで粘り強く泳ぐことができるようにする。	・安全指導 ・クロール、平泳ぎ ・習熟別授業の実施	【知識・技能】 基本的な泳法ができる。 【思考・判断・表現】 自分の泳ぎを振り返り、課題を見つけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し、ルールや指示を守ることができる。	○	○	○	12
	D ベースボール型 【知識及び技能】 打つ、投げる、捕るなどの基本的な技能を理解し、状況に応じて使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ゲームの状況に応じてどこに投げるか、どう打つかを判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 チームの一員として協力しながら、意欲的にゲームに参加できるようにする。	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	13
	D ネット型 【知識及び技能】 サーブ、レシーブなどの基本的な技能を理解し、使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の位置や動きを見て、どこに返球するかを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら積極的に	・個人技能 ・ゲーム	【知識・技能】 基本的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ゲームの状況判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間と協力しながら、積極的に行動している。	○	○	○	13

	ゲームに参加することができる。						
3 学 期	E 陸上競技 長距離走 【知識及び技能】 基本的な走り方や呼吸の仕方を理解し、一定のペースで走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体力や記録をもとに、適切なペース配分を考えて走ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録向上に向けて最後まで粘り強く走ることができる。		【知識及び技能】 一定のペースで走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体力や記録をもとに、適切なペース配分を考え、目標を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 最後まで粘り強く走ることができる。				10
							合計 70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育・ステップアップスポーツ2026）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】健康の保持増進や疾病予防について基本的な知識を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自分の生活習慣を振り返り、健康課題を見つけて解決することができるようにする。「

【学びに向かう力、人間性等】自分の健康に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活習慣と健康の関係について理解し、実生活に生かすことができるようにする。	健康に関する情報をもとに、適切な工夫を判断できるようにする。	自分の健康に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達の特徴について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期の心身の変化を踏まえ、自分の生活や行動について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期の心身の変化に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 性ホルモンの働きと二次性徴を現れについて理解している。 【思考・判断・表現】 ストレスや悩みの原因、改善のために必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	B 妊娠と出産 【知識及び技能】 妊娠の成立から出産までの過程について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠、出産に関する正しい知識をもとに母体や胎児の健康について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命の誕生に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 受精、着床、胎児の発育について理解できる。 【思考・判断・表現】 生命の尊さや責任について理解し、自分の考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	C 人工妊娠中絶 【知識及び技能】 人工妊娠中絶の方法や母体への影響について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 人工妊娠中絶に関する知識をもとに命や健康について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命や性に関する問題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 望まない妊娠を防ぐための方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 生命の尊さや責任について自分の考えを持ち、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	6
	D 中高年と健康 【知識及び技能】 中高年における心身の変化について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 中高年の健康課題について興味を持ち、考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中高年の健康について興味を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識・技能】 加齢に伴う健康課題やその予防方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 自分や家族の生活と関連付けて必要な取り組みを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康課題に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
E 働くことと健康 【知識及び技能】 働くことと健康の関係について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 働く人の健康課題について理解し、適切な対応や支援について考えることができる。	・知識の定着 ・話し合い活動 ・調べ学習	【知識及び技能】 職業病や労働災害の原因と予防について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働環境と心の健康の関係を踏まえ、自分や身近な生活を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働環境や精神疾患について関心を持ち、	○	○	○	6	

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 働くことと健康の関係に関心を 持ち、主体的に学習に取り組むこ とができる。	主体的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	○
	定期考査		○	○	○	1
						合計 35

年間授業計画

練馬工科高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学I 演習

教科： 数学 科目： 数学I 演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 改訂版 新編 数学 I ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数理的に捉え、適切に表現・処理するために必要な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方・考え方を働かせ、事象の性質や関係を論理的に考察するとともに、得られた結果を根拠に基づいて判断し、数学的に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさや有用性を認識し、主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察・改善しようとする姿勢を育てる。

科目 数学I 演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
図形と計量、二次関数及び集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 三角比の定義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を用いて図形の性質を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 鋭角の三角比/相互関係 ・教材 教科書・問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角比の定義を理解し、基本的な計算ができる。 【思考・判断・表現】 三角比を用いて図形の性質を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習に意欲的に取り組む。	○	○	○	20
	B 単元 【知識及び技能】 三角比を用いた基本的な問題を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を用いて図形の性質を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 三角比の応用/三角比の拡張 ・教材 教科書・問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角比を用いた基本的な問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 三角比を用いて図形の性質を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習に意欲的に取り組む。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 単元 【知識及び技能】 二次関数の式とグラフの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平方完成を用いてグラフを書く。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 二次関数の定義/グラフの概形 平方完成 ・教材 教科書・問題集 ・一人1台端末の活用 グラフ描画ソフトによる係数変化の確認	【知識・技能】 二次関数の式とグラフの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 平方完成を用いてグラフの特徴を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本事項を意識して学習に取り組む。	○	○	○	20
	D 単元 【知識及び技能】 二次関数を用いて問題を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 条件を整理し、妥当な解を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 グラフの最大・最小 二次関数の利用 平方完成 ・教材 教科書・問題集 ・一人1台端末の活用 グラフ描画ソフトによる係数変化の確認	【知識・技能】 二次関数を用いた問題を適切に処理できる。 【思考・判断・表現】 条件を整理し、妥当な解を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 応用問題にも粘り強く取り組む。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3 学期	C 単元 【知識及び技能】 集合および命題に関する基本的な用語や考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の構造を整理し、論理的に判断・説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的思考を意識して主体的に学習に取り組む。	・指導事項 集合と要素/部分集合 命題とその真偽/逆・裏・対偶 ・教材 教科書・問題集 ・一人1台端末の活用 ベン図を用いた可視化	【知識・技能】 集合および命題に関する基本的な用語や考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 命題の構造を整理し、論理的に判断・説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理的思考を意識して主体的に学習に取り組む。	○	○	○	24
	定期考査						1
						合計	105

	きる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に表現しようとしている。		○	○						○	○	○	5
	単元 Lesson7 Section2 【知識及び技能】 バリ島の環境問題に対してメラティとイザベルがどのように解決しようとしたか理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に表現しようとしている。	・子どもでも環境問題解決について行動できることを理解する。	○	○						○	○	○	5
	単元 Lesson7 Section3 【知識及び技能】 メラティとイザベルが直面した困難とそれをどのように乗り越えたかを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に表現しようとしている。	・環境問題はその地域全体のこと で困難も伴うが、それを実際に乗り越えた人たちがいることを学ぶ。	○	○						○	○	○	5
	単元Lesson7まとめ 【思考・判断・表現】 Lesson8で学んだナッジを使って環境問題解決のための方法を表現できる。	・環境問題解決にむけて今すぐできることを、これまで学んだ内容を用いて表現する。					○	○		○	○	○	3
3 学 期	Lesson5 【知識・技能】 達成しやすい目標の立て方を理解している。 【思考・判断・表現】 自分の就職・進学後の目標を具体的に設定できる。 【主体的に学ぼうとする態度】 積極的に表現しようとしている	・就職や進学した後に目標を立てる際、具体的に、何をいつまでを意識し、逆算していくことが達成可能性が高まることを学ぶ。	○	○	○	○	○						8
	確認テスト		○				○						合計 69

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 工業 科目 実習

教科：工業 科目：実習 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（工業技術基礎）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構造を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各系列の技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	各系列の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	各系列の技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	機械分野班：機械系実習 【知識及び技能】機械加工の基礎を理解し、安全に基本的な作業技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】作業工程や結果を考察し、適切に判断・表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】安全意識と責任感を持ち、主体的に実習に取り組む態度を育てる。	1. 旋盤加工に関する基礎的な知識と技術の習得 2. 溶接に関する基礎的な知識と技術の習得 3. 内燃機関の分解・組立に関する基礎的な知識と技術の習得 4. 自動車の点検作業に関する基礎的な知識と技術の習得 5. 先端技術 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等		○	○	○	140
	電気分野班：電気系 【知識及び技能】電気の基礎を理解し、測定や配線などの基本的な技能を安全に身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】回路や作業結果を基に、適切に考察・判断・表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】安全意識と責任感を持ち、主体的に実習に取り組む態度を育てる。	1. 電気工事に関する総合的な知識と技術の習得 2. 電線の被覆の剥ぎ取り方や基本的な配線接続方法の習得 3. 電気回路の要素に関する基礎的な知識と技術の習得 4. 直流回路に関する基礎的な知識と技術の習得 5. 交流回路に関する基礎的な知識と技術の習得 6. 先端技術 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等	①知識・技能 実習に関する基礎的な知識の理解状況および、工具・機器を安全に使用した基本的な技能の習得状況を、レポート、作品、提出課題及び行動観察により評価する。 ②思考・判断・表現 実習の工程や結果について考察し、課題に対する判断や成果を適切に表現できているかを、レポート、作品、提出課題及び行動観察により評価する。 ③主体的に学習に取り組む態度 安全意識と責任感を持ち、主体的に実習へ取り組もうとする態度を、レポート、出欠・遅刻の状況及び行動観察により評価する。 ※出欠・遅刻の状況については、実習への取組状況を把握するための参考資料として用いる。	○	○	○	
	デザイン分野班：デザイン系 【知識及び技能】デザインや工芸の基礎を理解し、材料や用具を用いた基本的な制作技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】意図や目的に基づいて構想を練り、制作過程や成果を適切に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】制作への意欲と責任感を持ち、主体的に実習に取り組む態度を育てる。	1. イラストレーターの使用法の習得 2. イラストレーター・ペンツールでのトレース作業の習得 3. オリジナルロゴマーク、ステーションナリーデザインの作成基礎演習 4. ビジュアルデザインに関する基礎演習 5. 木材加工法の習得、立体パズルの制作 6. 先端技術 教材 工業技術基礎・ワークシート 一人1台端末の活用 等		○	○	○	
1クラスを3分野3班に編成し、各班ごとに該当分野の実習を履修する。							
							合計
							140

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 工業 科目 製図

教科: 工業 科目: 製図 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第2学年 1組~ 5組
 教科担当者:
 使用教科書: (製図(実教出版))

教科 工業 の目標:
 【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、製図の役割や作図法などについて、実践的な知識および技能を身につけている。	製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、製図の役割や作図法などについて、実践的な知識および技能を身につけている。	授業準備を行い、授業に積極的に参加し自ら製図における基礎的・基本的な知識や技術を習得しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 製図の基礎の復習 【知識及び技能】 ・投影図をかきさい、品物の形を表すのに必要な図形について理解し、投影図の製作順序を習得させる。 ・第三角法による投影図のかき方を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・品物の形状を平面で表す方法として、第三角法による投影法を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・立体を平面で表す方法について関心を持たせ、意欲的に学習に取り組もうとさせる。	○製図の基礎の復習 1. 定規とコンパスを用いて、平面図形を正確にかく。 2. 品物の形状を平面上に表す投影法について理解させる。 ・第三角法による投影を理解させる。	【知識及び技能】 第三角法による投影図の描き方を理解し、定規とコンパスを用いて製図を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・品物の形状を平面で表す方法として、第三角法による投影法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・立体を平面で表す方法について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 基礎製図検定指導 【知識及び技能】 ・品物の形状が一目でわかる図示法として、キャビネット図および等角図について理解してさせる。 ・いろいろな断面図の表し方について理解し、わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立体を平面で表す方法を考察させる。 ・わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・キャビネット図および等角図について関心を持たせ、粘り強く学習に取り組もうとさせる。 ・いろいろな断面図の表し方について関心を持ち、粘り強く学習に取り組もうとさせる。	○基礎製図検定指導 ・立体の表現 ・等角投影図と三角法 ・補助投影図 ・展開図 ・断面図	B 単元 【知識及び技能】 キャビネット図、等角図について理解し、様々な立体の表現方法を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立体を平面で表す方法を考察できる。 ・わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・キャビネット図および等角図、様々な立体の表現方法について関心を持ち、粘り強く学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
2 学期	B 基礎製図検定指導 【知識及び技能】 ・品物の形状が一目でわかる図示法として、キャビネット図および等角図について理解させる。 ・いろいろな断面図の表し方について理解し、わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立体を平面で表す方法を考察させる。 ・わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・キャビネット図および等角図について関心を持たせ、粘り強く学習に取り組ませる。 ・いろいろな断面図の表し方について関心を持ち、粘り強く学習に取り組もうとさせる。	・立体の表現 ・等角投影図と三角法 ・補助投影図 ・展開図 ・断面図	【知識及び技能】 キャビネット図、等角図について理解し、様々な立体の表現方法を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立体を平面で表す方法を考察できる。 ・わかりやすい断面の切分方法や図示の方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・キャビネット図および等角図、様々な立体の表現方法について関心を持ち、粘り強く学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	A 機械製図の基礎知識 【知識及び技能】 ・ねじの種類と用途に関する知識及びねじの表し方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ねじの通常図示と簡略図示の図から、それぞれその内容を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ねじなどの締結用機械要素の製図に関心を持たせ、JISに基づくねじの表し方について理解させる。	・ねじの名称と種類、ねじの図示法、JISに基づくねじの表し方について理解させる。 ・ボルトの種類、六角ボルト・ナットの呼び方、ボルト・ナットの略画法について理解させる。 ・小ねじ、止めねじ・座金などの表し方を理解させる。	【知識及び技能】 ・ねじの種類と用途に関する知識を身につけ、ねじ製図の技能を習得している。 ・ねじの表し方について理解し、ねじ込み部の寸法記入の方法を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ねじの通常図示と簡略図示の図から、それぞれその内容を考察できる。 ・JISで定められたねじの表し方の構成をみて、その内容を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ねじなどの締結用機械要素の製図に関心を持ち、JISに基づくねじの表し方について理解できる。	○	○	○	24
3 学期	A CADシステム 【知識及び技能】 ・CADシステムの概要、構成、規格に関する知識を身につけ、CADシステムの機能を習得させる。 ・二次元CADの特徴を理解し、作図の技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・CADシステムの概要・構成・機能などについて考察させる。 ・二次元CAD作図について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・CADシステムは手書き製図と比較してどのような利点があるか理解させ、二次元CADによる作図に関心を持たせる。	・CADシステムの概要を理解させる。 ・CADシステムの構成および機能について理解させる。 ・CADシステムに関する規格について理解させる。 ・二次元CADによる作図の手順を理解させる。	【知識及び技能】 ・CADシステムの概要・構成・規格に関する知識を身につけ、CADシステムの機能を習得している。 ・二次元CADの特徴を理解し、作図の技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・CADシステムの概要・構成・機能などについて考察できる。 ・二次元CAD作図について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・CADシステムは手書き製図と比較してどのような利点があるか理解し、意欲的に学習に取り組もうとする。 ・二次元CADによる作図に関心がある。	○	○	○	12
							合計
						70	

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 工業 科目 機械設計基礎

教科：工業 科目：機械設計基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（機械設計1 新訂版（実教出版））

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構造を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 機械設計基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械設計について機械に働く力、材料及び機械装置の要素を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	機械設計に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で安心な機械を設計する力の向上を目指して自ら学び、情報技術や環境技術を活用した製造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 1. 機械のしくみ 【知識及び技能】 機械の定義を理解させ、機械がさまざまな機構や要素を組み合わせてできていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 機械とはどのようなものか、機械の定義・なりたち・動きなどを考察し、機械が否かを総合的に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 機械に関心を持たせ、機械の定義、機械のしくみ、機械の機構、機械要素を探索する。	『指導項目』 ・機械の設計 ・安全、環境と設計 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用	【知識及び技能】 機械の定義を理解し、機械がさまざまな機構や要素を組み合わせてできていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 機械とはどのようなものか、機械の定義・なりたち・動きなどを考察し、機械が否かを総合的に判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 機械に関心をもち、機械の定義、機械のしくみ、機械の機構、機械要素を探索しようとしている。	○	○	○	4
	B 1. 機械に働く力 【知識及び技能】 作図や計算で力を合成・分解する方法、計算によって力のモーメント・偶力・重心を求める方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 力を合成・分解する方法、力の働きやつり合い、重心の求め方の流れを考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 機械に働く力の工学的意義や物体に動きを与える力について関心をもたせる。	『指導項目』 ・力の合成、分解 ・力のモーメント ・偶力 ・重心 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用	【知識及び技能】 作図や計算で力を合成・分解する方法、計算によって力のモーメント・偶力・重心を求める方法を理解し、それぞれの方法で結果を導き出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力を合成・分解する方法、力の働きやつり合い、重心の求め方の流れを考察することができる。力を数学的に捉え数式や数値で適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 機械に働く力の工学的意義や物体に動きを与える力について関心をもち、設計にどのように役立っているかを探索し、理解しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	D 自動車の原理 【知識及び技能】 ・自動車用エンジンの働きと動力伝達に関する装置についての基本的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自動車用エンジンの構造・機能について、自ら思考を深める能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自動車用エンジンの性能およびその付属装置などについて関心を持たせる。	『指導項目』 動力を発生させるガソリンエンジンのしくみと原理 『教材』 独自プリント、ICT機器の活用	【知識及び技能】 ・自動車用エンジンの働きと動力伝達に関する装置についての基本的な知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自動車用エンジンの構造・機能について、自ら思考を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自動車用エンジンの性能およびその付属装置などについて関心を持っている。	○	○	○	3
	A 1. 材料に加わる荷重 【知識及び技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができる。関連する用語を正しく理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類し、適切な計算方法を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその事象を探そうとする態度を身につけさせる。	『指導項目』 ・材料に加わる荷重 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用	A 1. 材料に加わる荷重 【知識及び技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができる。関連する用語を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類し、適切な計算を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその事象を探そうとする態度を身につけている。	○	○	○	8

2 学 期	<p>B 引張荷重・圧縮荷重</p> <p>【知識及び技能】 応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 荷重-変形線図、応力-ひずみ線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどを正しく理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知らうとする意欲を持たせる。</p>	<p>『指導項目』 ・引張荷重の計算 ・圧縮荷重の計算 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用</p>	<p>B 引張荷重・圧縮荷重</p> <p>【知識及び技能】 応力を適切な単位で表現でき、応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 荷重-変形線図、応力-ひずみ線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどの説明ができ、応力とひずみの関係を計算により表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知らうとする意欲があり、縦弾性係数を理解しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>B セン断荷重</p> <p>【知識及び技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について興味・関心を持たせる。</p>	<p>『指導項目』 ・せん断荷重の計算 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用</p>	<p>【知識及び技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 せん断荷重の特徴を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>B 温度変化による影響</p> <p>【知識及び技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連づけて熱応力を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 熱応力に関心を持たせる。</p>	<p>『指導項目』 ・温度変化による影響 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用</p>	<p>【知識及び技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 熱応力の原理を理解し、材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを考察しようとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	<p>D 自動車の原理</p> <p>【知識及び技能】 ・各種の動力伝達装置についての基本的な知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動力伝達装置の構造・機能および変速比・減速比などについて自ら思考を深める能力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 動力伝達装置の構造・作動について関心を持たせる。</p>	<p>『指導項目』 ・動力伝達装置 ・自動車における様々な装置について 『教材』 独自プリント、ICT機器の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・各種の動力伝達装置についての基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動力伝達装置の構造・機能および変速比・減速比などについて自ら思考を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 動力伝達装置の構造・作動について関心を持ち、意欲的に探究に取り組んでいる。</p>	○	○	○	5
	<p>材料の強さ</p> <p>【知識及び技能】 はりに生じるせん断力と曲げモーメント・曲げ応力を求める方法を理解し、せん断力図と曲げモーメント図を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲げ応力、断面二次モーメント、断面係数の関係式より、適切なはりについて考える力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>『指導項目』 ・材料の破壊 ・はりの曲げ 『教材』 教科書、独自プリント、ICT機器の活用</p>	<p>【知識及び技能】 はりに生じるせん断力と曲げモーメント・曲げ応力を求める方法を理解し、せん断力図と曲げモーメント図を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲げ応力、断面二次モーメント、断面係数の関係式より、適切なはりについて考える力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲げを受ける機械や構造物の部材の強さに関心をもち、はりに生じる応力や変形について</p>	○	○	○	9

3 学 期	【予習】 曲げを受ける機械や構造物の部材の強さに関心を持たせる。	心算もつ、はりに生じる応力、変形について探求し、実例について考察しようとしている。	○	○	○	○
	定期考査		○	○		1
						合計
						70

